

千曲市の合計特殊出生率に関する分析

目 次

1. 合計特殊出生率について	1
1-1. 市町村別合計特殊出生率	1
1-2. 千曲市の合計特殊出生率の推移	2
2. 出生率についての分析	2
3. 女性の人口について	3
4. 出生数の推移	4
4-1. 千曲市の出生数と女性人口の推移	4
4-2. 出生数・出生順位・市町村別統計	5
4-3. 子どもの移動	6
5. 女性の未婚率	7
6. 女性の就業率	8
7. 千曲市の特徴について	9
8. まとめ	9

1. 合計特殊出生率について

1-1. 市町村別合計特殊出生率

平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）による市町村別合計特殊出生率をみると、千曲市は1.45で長野県(1.57)を下回っている水準です。

【市町村別合計特殊出生率(長野県)】

順位	市区町村		合計特殊出生率	順位	市区町村		合計特殊出生率
	長野県		1.57	39	長野市		1.56
1	飯田市		1.76	40	松本市		1.56
2	上伊那郡	南箕輪村	1.76	41	上伊那郡	飯島町	1.56
3	下伊那郡	阿智村	1.71	42	下伊那郡	売木村	1.56
4	南佐久郡	川上村	1.70	43	上田市		1.55
5	諏訪市		1.69	44	東御市		1.55
6	下伊那郡	喬木村	1.68	45	南佐久郡	佐久穂町	1.55
7	伊那市		1.66	46	小県郡	青木村	1.55
8	駒ヶ根市		1.65	47	木曾郡	南木曾町	1.55
9	塩尻市		1.65	48	木曾郡	木祖村	1.55
10	上伊那郡	宮田村	1.65	49	木曾郡	木曾町	1.55
11	茅野市		1.63	50	東筑摩郡	麻績村	1.55
12	上伊那郡	箕輪町	1.62	51	東筑摩郡	生坂村	1.55
13	下伊那郡	松川町	1.62	52	南佐久郡	南牧村	1.54
14	下伊那郡	下條村	1.62	53	小県郡	長和町	1.54
15	諏訪郡	原村	1.61	54	諏訪郡	下諏訪町	1.53
16	下水内郡	栄村	1.61	55	安曇野市		1.52
17	小諸市		1.60	56	諏訪郡	富士見町	1.52
18	中野市		1.60	57	木曾郡	王滝村	1.52
19	南佐久郡	南相木村	1.60	58	東筑摩郡	筑北村	1.52
20	下伊那郡	高森町	1.60	59	須坂市		1.51
21	下伊那郡	大鹿村	1.60	60	下伊那郡	阿南町	1.51
22	下高井郡	木島平村	1.60	61	上高井郡	小布施町	1.51
23	下高井郡	野沢温泉村	1.60	62	飯山市		1.50
24	岡谷市		1.59	63	北佐久郡	軽井沢町	1.50
25	上伊那郡	中川村	1.59	64	北安曇郡	池田町	1.50
26	下伊那郡	平谷村	1.59	65	南佐久郡	小海町	1.49
27	下伊那郡	根羽村	1.59	66	東筑摩郡	朝日村	1.49
28	下伊那郡	天龍村	1.59	67	北安曇郡	松川村	1.49
29	北安曇郡	小谷村	1.59	68	上伊那郡	辰野町	1.48
30	佐久市		1.58	69	大町市		1.47
31	北佐久郡	御代田町	1.58	70	北安曇郡	白馬村	1.46
32	木曾郡	上松町	1.58	71	千曲市		1.45
33	木曾郡	大桑村	1.58	72	埴科郡	坂城町	1.45
34	南佐久郡	北相木村	1.57	73	上高井郡	高山村	1.45
35	下伊那郡	泰阜村	1.57	74	下高井郡	山ノ内町	1.44
36	下伊那郡	豊丘村	1.57	75	上水内郡	飯綱町	1.43
37	東筑摩郡	山形村	1.57	76	上水内郡	信濃町	1.42
38	上水内郡	小川村	1.57	77	北佐久郡	立科町	1.41

■は19市

出典：厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

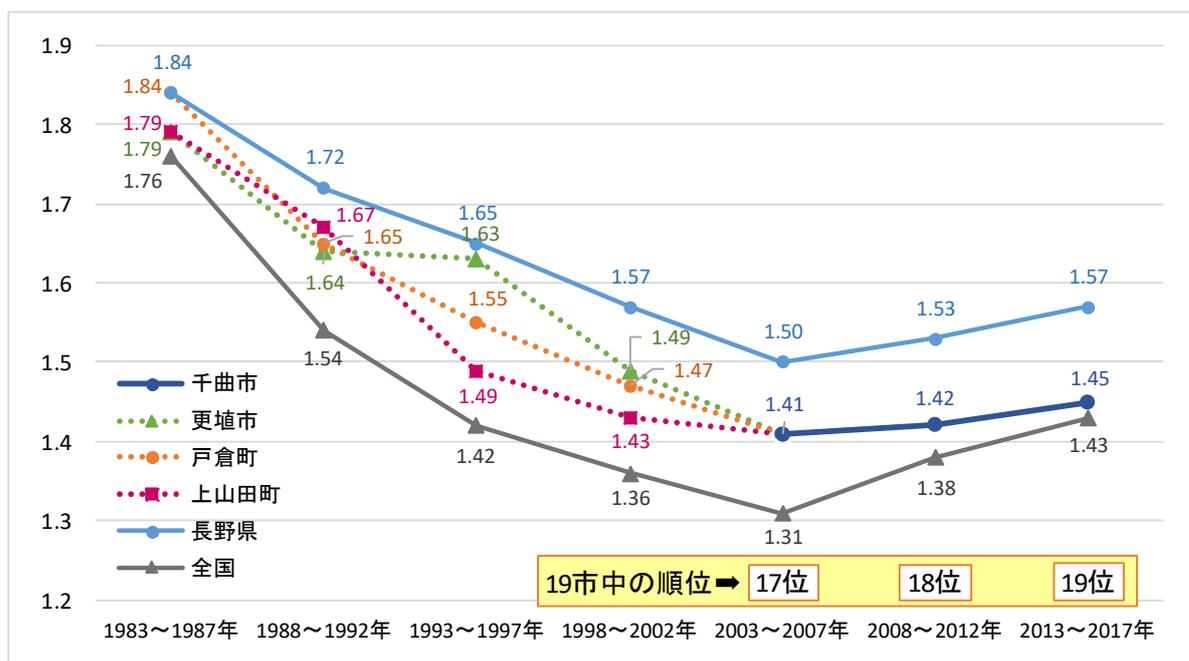
1-2. 千曲市の合計特殊出生率の推移

千曲市の合計特殊出生率は、長野県と比べて下回った水準が続いており、2003～2007年には1.41と最低水準になりました。一方、全国と比べると上回る水準で推移しています。

2008～2012年以降は上昇に転じ、2013～2017年は1.45となりましたが、1983～1987年と比べると、まだ低い水準となっています。

県内の19市と比較すると、2003～2007年は17位、2008～2012年は18位、2013～2017年は19位となっています。

【合計特殊出生率の推移】



出典：厚生労働省「人口動態統計特殊報告 人口動態保健所・市区町村別統計」 ※ベイズ推定値

※全国の1983～2002年は、各期間の中央の年次における値

2. 出生率についての分析

千曲市は他市と比べて合計特殊出生率が低くなっていますが、その要因について、女性数や出生数、未婚率などの傾向を分析して、その要因を整理します。

3. 女性の人口について

他市に比べて、女性の人口が少ない

女性の人口についてみると、千曲市の総人口に対する女性比率は51.7%で、長野県や他市と比べても平均的な構成となっています。

一方5歳階級別の女性人口割合をみると、千曲市は25～29歳が4.0%、30～34歳が4.3%などで、長野県や他市と比べると女性の割合が低く、女性数が少ないといえます。

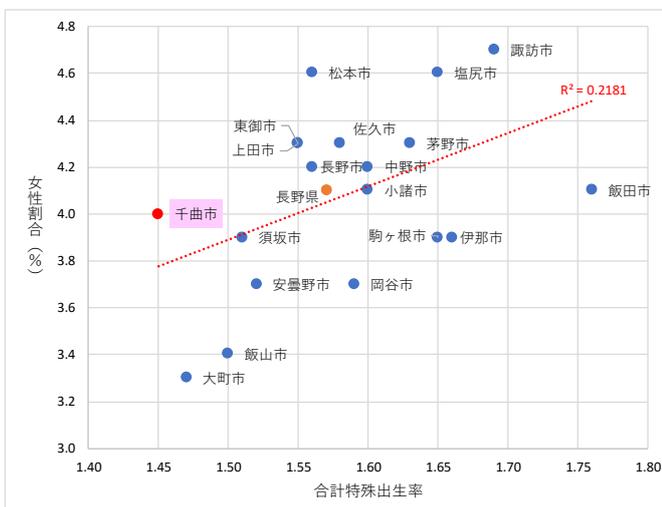
【女性(15～49歳)の市町村別割合】

	総人口(人)	うち女性人口	女性比(%)	うち15～49歳人口(5歳階級別)構成比(%)												合計特殊出生率		
				15～19歳	順位	20～24歳	順位	25～29歳	順位	30～34歳	順位	35～39歳	順位	40～44歳	順位		45～49歳	順位
長野県	2,098,804	1,076,675	51.3	4.4	—	3.5	—	4.1	—	4.8	—	5.9	—	6.9	—	6.3	—	1.57
千曲市	60,298	31,193	51.7	4.3	13	3.5	8	4.0	12	4.3	16	5.5	16	7.1	7	6.2	9	1.45
長野市	377,598	194,755	51.6	4.3	13	3.5	8	4.2	8	5.0	4	6.1	4	7.3	6	6.6	3	1.56
松本市	243,293	123,814	50.9	4.8	1	4.3	1	4.6	2	5.3	2	6.5	2	7.5	1	6.7	2	1.56
上田市	156,827	80,051	51.0	4.5	4	3.9	3	4.3	4	4.8	9	5.8	13	6.8	12	6.4	7	1.55
岡谷市	50,128	25,798	51.5	4.2	16	3.2	17	3.7	16	4.2	17	6.0	5	7.1	7	6.2	9	1.59
飯田市	101,581	53,138	52.3	4.3	13	3.3	14	4.1	10	4.8	9	5.5	16	6.5	15	5.7	18	1.76
諏訪市	50,140	25,748	51.4	4.5	4	3.7	5	4.7	1	5.2	3	6.0	5	7.5	1	6.5	5	1.69
須坂市	50,725	25,935	51.1	4.7	2	3.3	14	3.9	13	4.5	15	6.0	5	7.0	9	6.1	16	1.51
小諸市	42,512	21,889	51.5	4.4	7	3.4	11	4.1	10	4.8	9	6.0	5	6.6	14	6.2	9	1.60
伊那市	68,271	34,826	51.0	4.2	16	3.4	11	3.9	13	4.6	14	5.7	15	7.0	9	6.2	9	1.66
駒ヶ根市	32,759	16,753	51.1	4.4	7	3.9	3	3.9	13	4.7	12	5.8	13	7.0	9	6.5	5	1.65
中野市	43,909	22,666	51.6	4.4	7	3.6	6	4.2	8	4.9	8	5.9	10	6.5	15	6.2	9	1.60
大町市	28,041	14,486	51.7	4.0	19	3.0	18	3.3	19	3.9	18	4.7	19	6.2	18	6.0	17	1.47
飯山市	21,438	11,073	51.7	4.4	7	2.9	19	3.4	18	3.9	18	5.1	18	5.6	19	5.5	19	1.50
茅野市	55,912	28,101	50.3	4.2	16	3.5	8	4.3	4	5.0	4	6.6	1	7.5	1	6.3	8	1.63
塩尻市	67,135	33,788	50.3	4.5	4	4.0	2	4.6	2	5.6	1	6.2	3	7.4	5	6.9	1	1.65
佐久市	99,368	50,914	51.2	4.7	2	3.6	6	4.3	4	5.0	4	5.9	10	6.4	17	6.2	9	1.58
東御市	30,107	15,333	50.9	4.4	7	3.3	14	4.3	4	5.0	4	5.9	10	6.8	12	6.2	9	1.55
安曇野市	95,282	49,416	51.9	4.4	7	3.4	11	3.7	16	4.7	12	6.0	5	7.5	1	6.6	3	1.52

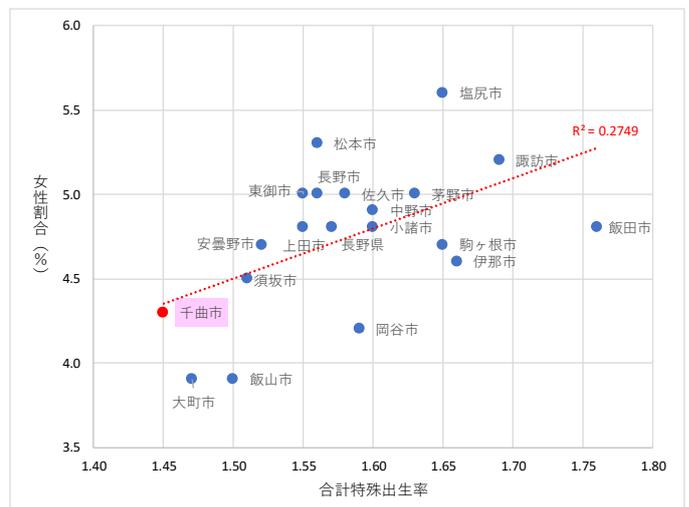
出典：総務省「平成27年国勢調査」

合計特殊出生率は、厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

【25～29歳の女性割合と合計特殊出生率】



【30～34歳の女性割合と合計特殊出生率】



4. 出生数の推移

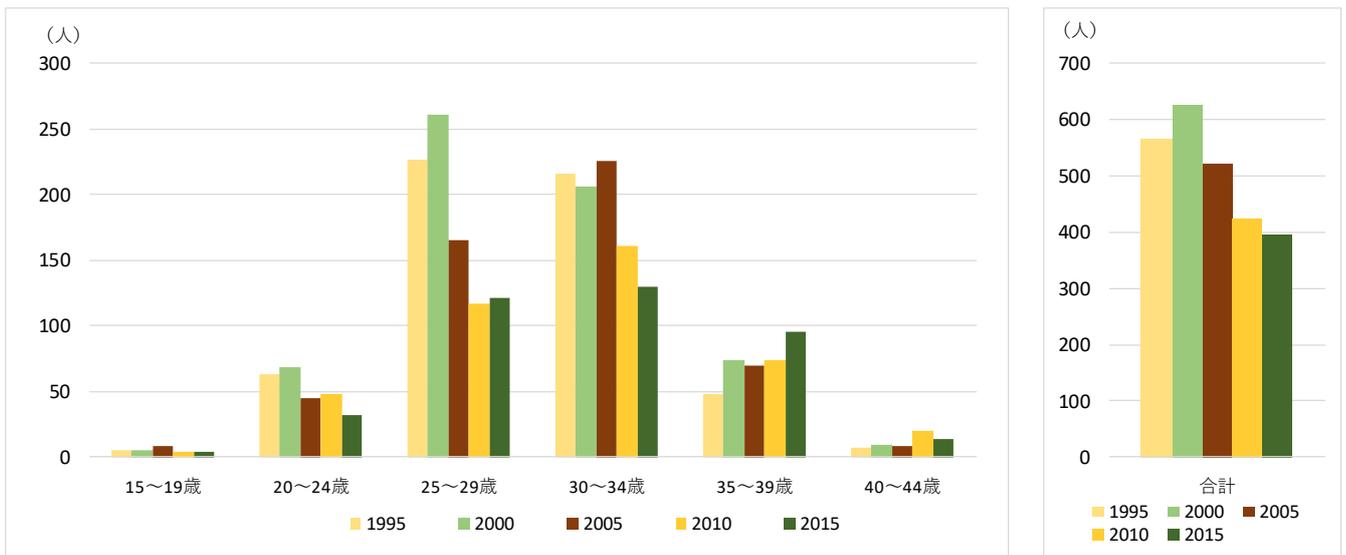
4-1. 千曲市の出生数と女性人口の推移

出産女性の主な年齢は 25～39 歳

千曲市の出生数の推移をみると、1995 年から 2005 年にかけては、母親の年齢 20～29 歳、30～34 歳の出生数が多く、千曲市全体の出生数に占める割合が高くなっていました。

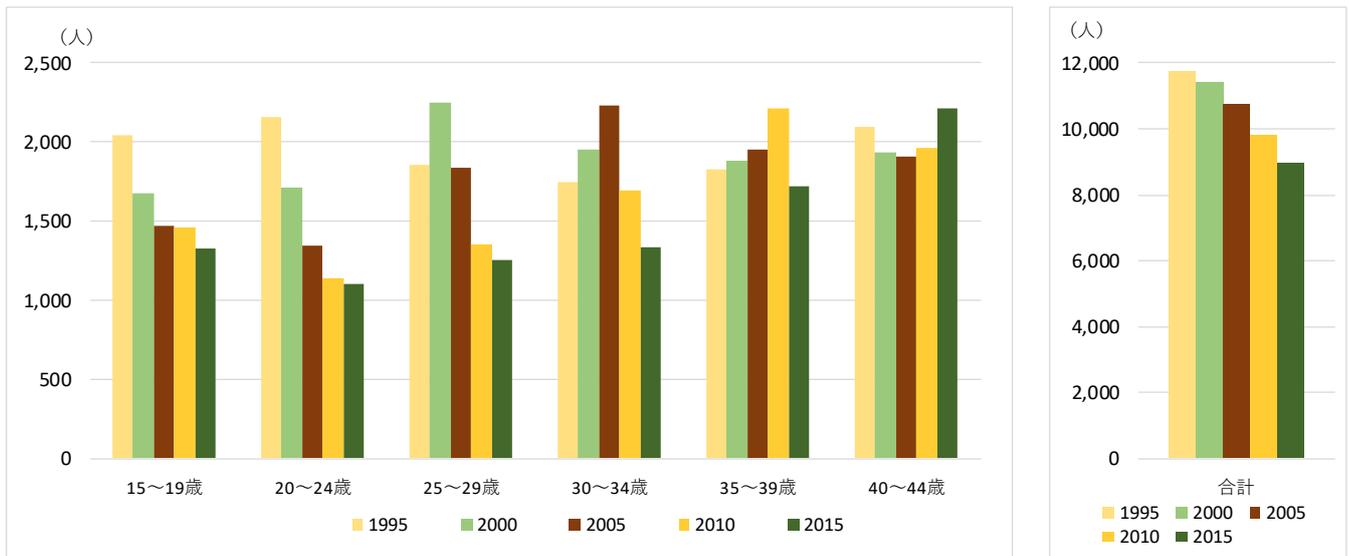
しかし 2015 年、2020 年は 25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳と年齢層が広がっています。年次別の推移をみると、母親の年齢が 20 歳から 34 歳にかけて、出生数が減少しているのに対し、35～39 歳、40～44 歳では女性数の増加とともに出生数も増えています。

【母親の年齢(5歳階級)別出生数】



出典：厚生労働省「人口動態調査」

【5歳階級別女性人口】



出典：総務省「国勢調査」

4-2. 出生数・出生順位・市町村別統計

第2子の出生割合が、他市に比べて高い

出生順位別にみると、第1子の出生割合は44.9%で長野県よりやや低く、他市と比べると中位程度となっています。一方、第2子の出生割合は40.4%で長野県や他市に比べて高くなっています。

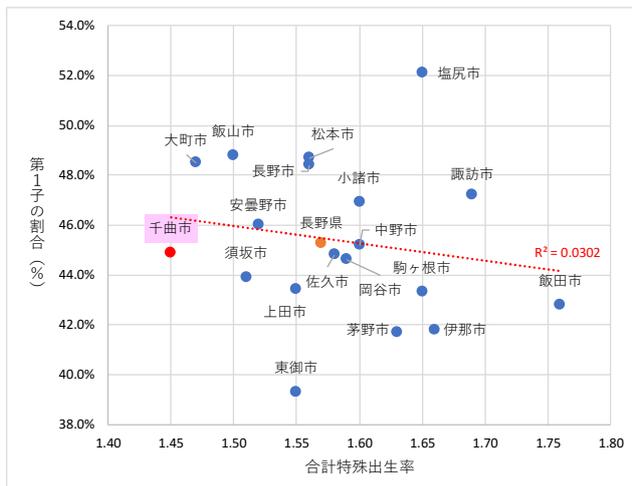
【出生順位・市町村別、出生数】

	出生数	第1子の割合	順位	第2子の割合	順位	第3子以降の割合	順位	合計特殊出生率
長野県	15,638	45.3%	-	37.0%	-	17.7%	-	1.57
千曲市	396	44.9%	10	40.4%	3	14.7%	17	1.45
長野市	3,008	48.4%	5	36.4%	14	15.2%	15	1.56
松本市	2,100	48.7%	3	36.7%	12	14.6%	18	1.56
上田市	1,175	43.4%	14	38.0%	7	18.6%	6	1.55
岡谷市	336	44.6%	12	36.9%	11	18.5%	7	1.59
飯田市	828	42.8%	16	38.0%	7	19.2%	4	1.76
諏訪市	447	47.2%	6	38.3%	5	14.5%	19	1.69
須坂市	362	43.9%	13	38.1%	6	18.0%	8	1.51
小諸市	303	46.9%	7	34.3%	17	18.8%	5	1.60
伊那市	495	41.8%	17	36.6%	13	21.6%	2	1.66
駒ヶ根市	252	43.3%	15	41.7%	2	15.0%	16	1.65
中野市	341	45.2%	9	37.2%	9	17.6%	10	1.60
大町市	165	48.5%	4	35.2%	15	16.3%	13	1.47
飯山市	129	48.8%	2	33.3%	18	17.9%	9	1.50
茅野市	434	41.7%	18	42.4%	1	15.9%	14	1.63
塩尻市	518	52.1%	1	31.1%	19	16.8%	11	1.65
佐久市	743	44.8%	11	35.0%	16	20.2%	3	1.58
東御市	229	39.3%	19	38.4%	4	22.3%	1	1.55
安曇野市	702	46.0%	8	37.2%	9	16.8%	11	1.52

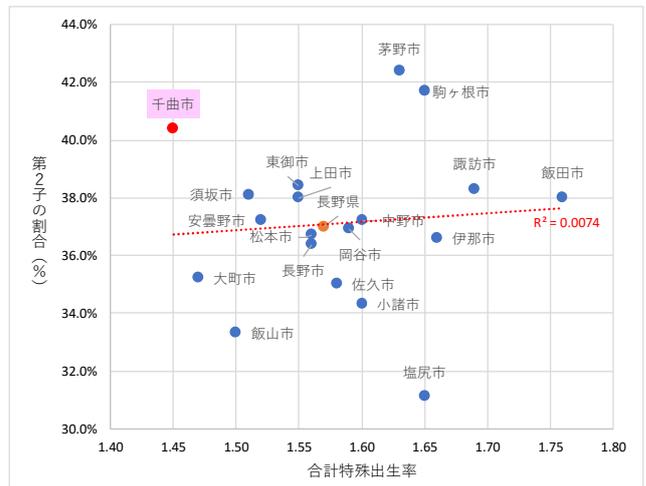
出典：長野県「平成27年長野県衛生年報」

合計特殊出生率は、厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

【第1子の割合と合計特殊出生率】



【第2子の割合と合計特殊出生率】



4-3. 子どもの移動

0歳から1歳にかけての増加(異動)率が高い

0歳から1歳にかけての人口異動をみると、長野県全体で増加が続いている中、千曲市は他市と比べても異動率が高く、他市からの転入数が多い傾向です。

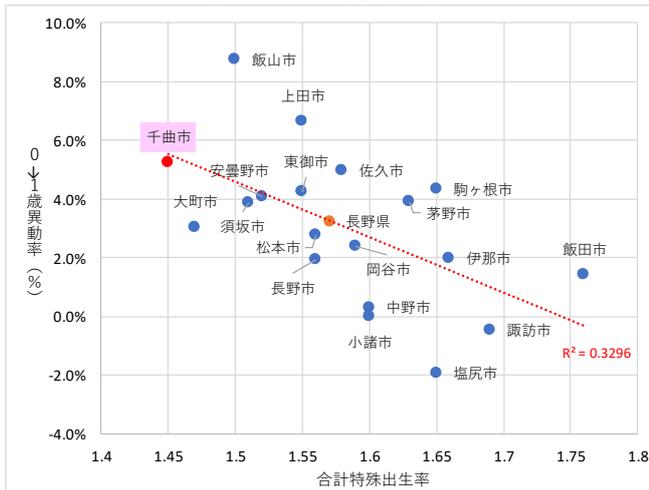
【0歳→1歳の年齢異動率(平成27年～令和2年)】

	0→1歳異動率										合計特殊出生率
	H27→H28	順位	H28→H29	順位	H29→H30	順位	H30→R1	順位	R1→R2	順位	
長野県	3.2%	-	3.4%	-	2.8%	-	3.0%	-	2.8%	-	1.57
千曲市	5.3%	3	7.6%	2	5.3%	4	2.7%	9	7.5%	1	1.45
長野市	1.9%	14	3.6%	10	2.2%	13	1.1%	16	2.6%	8	1.56
松本市	2.8%	11	2.1%	13	0.2%	18	2.4%	12	2.2%	9	1.56
上田市	6.6%	2	4.0%	8	1.8%	16	3.5%	8	2.7%	6	1.55
岡谷市	2.4%	12	△1.7%	18	6.8%	1	△2.2%	19	△1.3%	17	1.59
飯田市	1.4%	15	1.5%	16	3.4%	9	2.2%	13	1.6%	12	1.76
諏訪市	△0.5%	18	0.0%	17	2.7%	11	0.3%	17	1.7%	10	1.69
須坂市	3.9%	9	5.2%	5	2.8%	10	6.4%	1	5.6%	3	1.51
小諸市	0.0%	17	△4.5%	19	2.1%	14	4.5%	3	△3.6%	19	1.60
伊那市	2.0%	13	3.7%	9	3.5%	7	0.2%	18	0.2%	14	1.66
駒ヶ根市	4.3%	5	1.6%	15	2.5%	12	5.5%	2	0.8%	13	1.65
中野市	0.3%	16	2.7%	12	5.0%	5	3.7%	7	2.6%	7	1.60
大町市	3.0%	10	8.8%	1	3.4%	8	1.5%	14	0.0%	15	1.47
飯山市	8.7%	1	6.3%	3	5.7%	2	2.6%	10	5.5%	4	1.50
茅野市	3.9%	8	4.2%	7	4.3%	6	3.9%	6	△1.0%	16	1.63
塩尻市	△1.9%	19	2.0%	14	△2.4%	19	1.2%	15	△1.9%	18	1.65
佐久市	5.0%	4	4.9%	6	0.9%	17	4.2%	5	2.9%	5	1.58
東御市	4.2%	6	5.8%	4	1.9%	15	4.3%	4	6.8%	2	1.55
安曇野市	4.1%	7	2.8%	11	5.4%	3	2.5%	11	1.6%	11	1.52

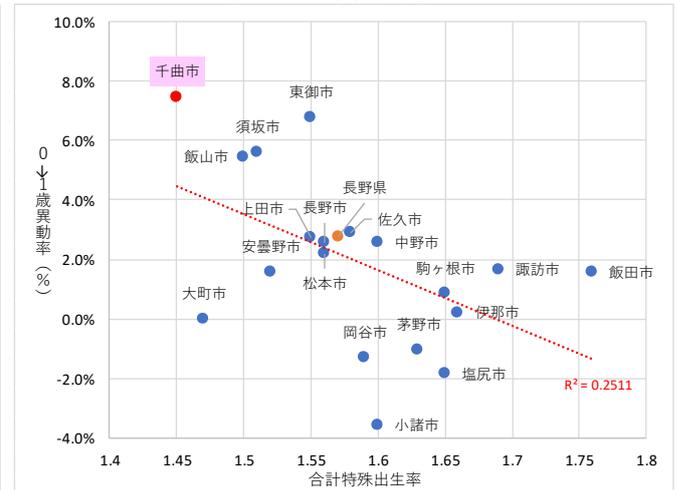
出典：長野県「毎月人口異動調査」

合計特殊出生率は、厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

【H27→H28 異動率】



【R1→R2 異動率】



5. 女性の未婚率

出産数が多い年代(25～39歳)の未婚率は高め

女性の未婚率をみると、25～29歳が62.4%、30～34歳が35.8%、35～39歳が23.6%となっており、他の都市と比較すると未婚率が高い傾向となっています。

相関グラフをみると、合計特殊出生率の低い他市も同様に未婚率が高い傾向がみえます。

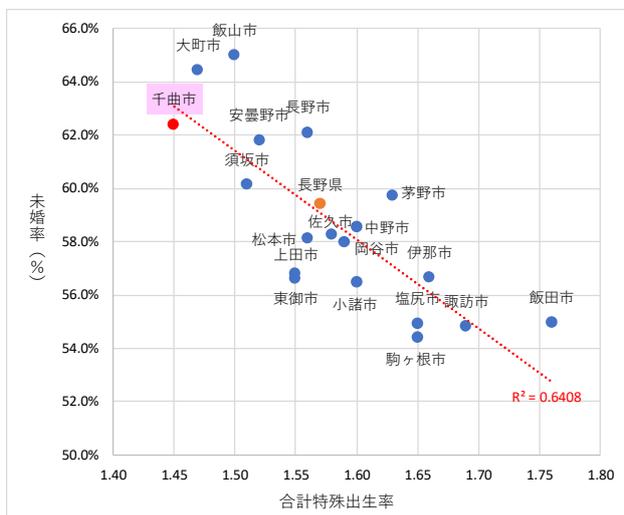
【女性(5歳階級別)の未婚率】

	15～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		合計特殊出生率
	未婚率	順位													
長野県	99.1%	-	89.3%	-	59.4%	-	31.8%	-	20.7%	-	16.1%	-	13.0%	-	1.57
千曲市	99.5%	5	91.8%	3	62.4%	3	35.8%	2	23.6%	2	17.3%	4	14.0%	4	1.45
長野市	98.7%	15	91.0%	4	62.1%	4	32.1%	8	22.0%	4	17.6%	3	15.2%	2	1.56
松本市	98.6%	16	89.3%	7	58.1%	10	31.2%	10	20.8%	10	16.6%	5	14.1%	3	1.56
上田市	99.0%	14	88.7%	10	56.8%	12	30.5%	15	19.4%	13	15.9%	8	12.5%	10	1.55
岡谷市	99.2%	11	88.0%	14	58.0%	11	33.1%	7	20.6%	12	18.7%	1	15.4%	1	1.59
飯田市	99.1%	12	87.1%	16	55.0%	16	27.8%	19	19.1%	14	15.1%	15	12.0%	12	1.76
諏訪市	98.4%	18	85.9%	18	54.8%	18	30.9%	12	18.9%	15	15.4%	13	13.7%	5	1.69
須坂市	99.6%	3	90.9%	5	60.1%	6	33.8%	5	22.6%	3	15.8%	9	13.0%	9	1.51
小諸市	98.5%	17	83.7%	19	56.4%	15	30.9%	13	20.8%	9	16.5%	6	13.3%	7	1.60
伊那市	99.2%	9	86.2%	17	56.6%	13	28.8%	18	17.7%	18	13.5%	19	11.1%	15	1.66
駒ヶ根市	99.2%	10	88.2%	12	54.4%	19	30.1%	16	21.2%	7	15.5%	12	10.3%	18	1.65
中野市	99.6%	2	89.2%	8	58.5%	8	31.1%	11	21.9%	5	18.2%	2	13.2%	8	1.60
大町市	99.5%	6	92.8%	2	64.4%	2	36.9%	1	21.1%	8	15.9%	7	10.9%	16	1.47
飯山市	99.6%	4	93.4%	1	65.0%	1	34.3%	3	23.7%	1	15.5%	11	11.7%	13	1.50
茅野市	99.0%	13	88.0%	13	59.7%	7	30.5%	14	17.0%	19	14.9%	16	10.8%	17	1.63
塩尻市	99.5%	7	87.4%	15	54.9%	17	32.1%	9	20.7%	11	15.6%	10	13.3%	6	1.65
佐久市	98.4%	19	88.3%	11	58.2%	9	29.7%	17	18.4%	16	14.6%	18	12.5%	11	1.58
東御市	99.7%	1	89.0%	9	56.6%	14	33.9%	4	18.1%	17	14.7%	17	10.2%	19	1.55
安曇野市	99.4%	8	90.3%	6	61.8%	5	33.4%	6	21.2%	6	15.3%	14	11.2%	14	1.52

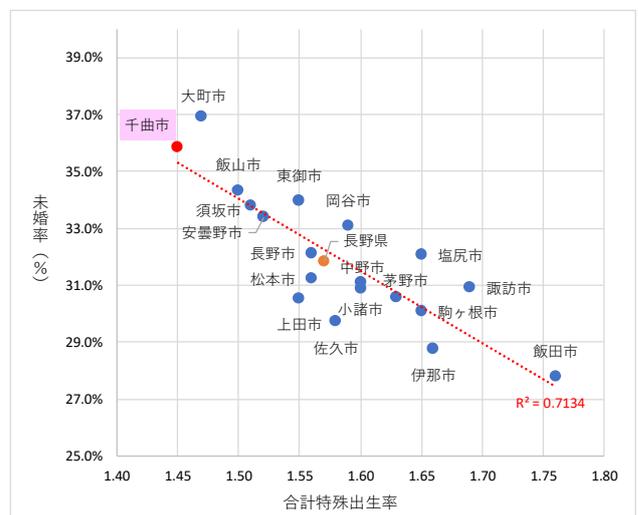
出典：総務省「平成27年国勢調査」

合計特殊出生率は、厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

【25～29歳未婚率と合計特殊出生率】



【30～34歳未婚率と合計特殊出生率】



6. 女性の就業率

25～29歳の就業率は高く、30～34歳の就業率は中位

女性の就業率をみると、25～29歳が76.1%、30～34歳が68.9%、35～39歳が72.6%で、概ね長野県と同様の水準ですが、他市と比較すると25～29歳の就業率はやや高く、30～34歳の就業率は中位程度となっており、就業率と出生率の要因はあまり見られません。

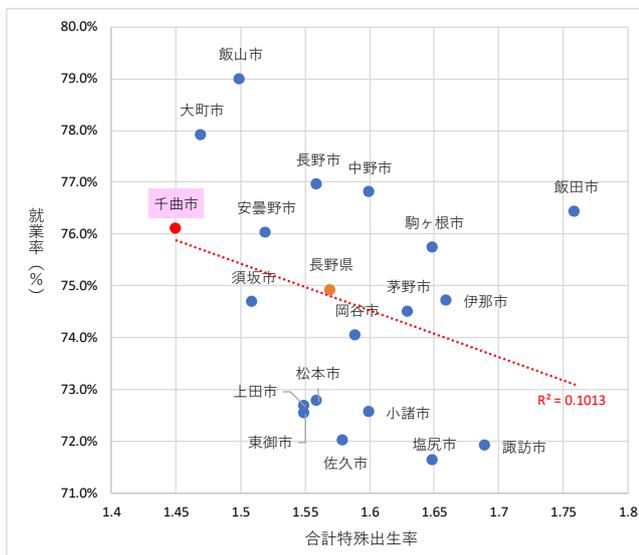
【女性（5歳階級別）の就業率】

	15～19歳		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45～49歳		合計特殊出生率
	就業率	順位													
長野県	10.5%	-	67.6%	-	74.9%	-	69.0%	-	72.9%	-	78.8%	-	80.9%	-	1.57
千曲市	10.2%	13	69.4%	10	76.1%	6	68.9%	8	72.6%	9	78.1%	13	81.2%	9	1.45
長野市	10.4%	11	68.5%	12	76.9%	3	68.5%	11	71.7%	14	77.3%	15	79.2%	14	1.56
松本市	12.0%	2	60.5%	19	72.8%	13	65.6%	17	68.4%	19	74.5%	19	77.4%	18	1.56
上田市	10.9%	7	62.4%	17	72.7%	14	70.5%	4	73.7%	7	77.9%	14	80.2%	13	1.55
岡谷市	9.0%	17	72.1%	5	74.0%	12	68.9%	9	71.9%	12	77.1%	16	80.4%	11	1.59
飯田市	11.4%	4	73.6%	3	76.4%	5	70.2%	5	77.4%	3	81.7%	4	83.7%	4	1.76
諏訪市	10.5%	10	66.4%	13	71.9%	18	64.0%	19	70.0%	18	76.2%	18	77.3%	19	1.69
須坂市	11.0%	6	70.1%	7	74.7%	10	72.6%	3	76.8%	4	79.6%	9	82.9%	6	1.51
小諸市	11.9%	3	68.8%	11	72.6%	15	68.8%	10	74.1%	6	78.8%	11	78.0%	17	1.60
伊那市	10.9%	8	69.8%	9	74.7%	9	65.9%	16	70.9%	17	80.3%	5	81.2%	8	1.66
駒ヶ根市	16.5%	1	65.8%	15	75.7%	8	64.8%	18	75.4%	5	79.9%	7	83.6%	5	1.65
中野市	8.7%	18	73.4%	4	76.8%	4	74.2%	2	77.9%	2	82.9%	2	84.3%	2	1.60
大町市	10.6%	9	74.0%	2	77.9%	2	69.2%	7	73.3%	8	82.5%	3	83.8%	3	1.47
飯山市	6.6%	19	75.3%	1	79.0%	1	77.8%	1	81.0%	1	87.4%	1	89.1%	1	1.50
茅野市	9.3%	16	70.0%	8	74.5%	11	68.0%	14	71.7%	15	79.8%	8	82.5%	7	1.63
塩尻市	11.1%	5	62.9%	16	71.6%	19	68.4%	12	72.0%	11	78.5%	12	80.4%	12	1.65
佐久市	9.6%	14	60.6%	18	72.0%	17	70.0%	6	71.6%	16	76.6%	17	79.1%	15	1.58
東御市	10.4%	12	66.2%	14	72.5%	16	67.5%	15	72.6%	10	80.2%	6	79.0%	16	1.55
安曇野市	9.6%	15	71.0%	6	76.0%	7	68.3%	13	71.9%	13	78.9%	10	80.8%	10	1.52

出典：総務省「平成27年国勢調査」

合計特殊出生率は、厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」

【25～29歳就業率と合計特殊出生率】



【30～34歳就業率と合計特殊出生率】



7. 千曲市の特徴について

これまでの統計データから千曲市では次のような特徴があることがわかります。
今後の施策展開の中で必要な検討、取り組みを進めてまいります。

1. 25～39歳の女性が少ない

他市と比べて、出産数に大きく影響する年代(25～39歳)の女性人口が少ない。

2. 出産する母親の年齢層は広い

出産する母親の年齢について、かつては25～34歳が占めていたが、現在では25～39歳と年齢層の幅が広がっています。また35～39歳、40～44歳での出産が増えていることから、晩産化が進んでいます。

3. 他市と比べて第2子の出生割合が高く、0→1歳の異動率が高い

他市と比較して第2子の出生割合が高くなっています。また0歳から1歳にかけての異動率も高く、他市で生まれて千曲市へ転入してくる人口が多いと推測されます。

4. 未婚率が高い

女性の未婚率が高く、晩産化の要因の1つと推測されます。

8. まとめ

千曲市の合計特殊出生率が低い主な要因としては以下のことが推測されます。

1. 25～39歳の女性が少ない
2. 子どものいる世帯の転入が多い
3. 未婚率が高い